

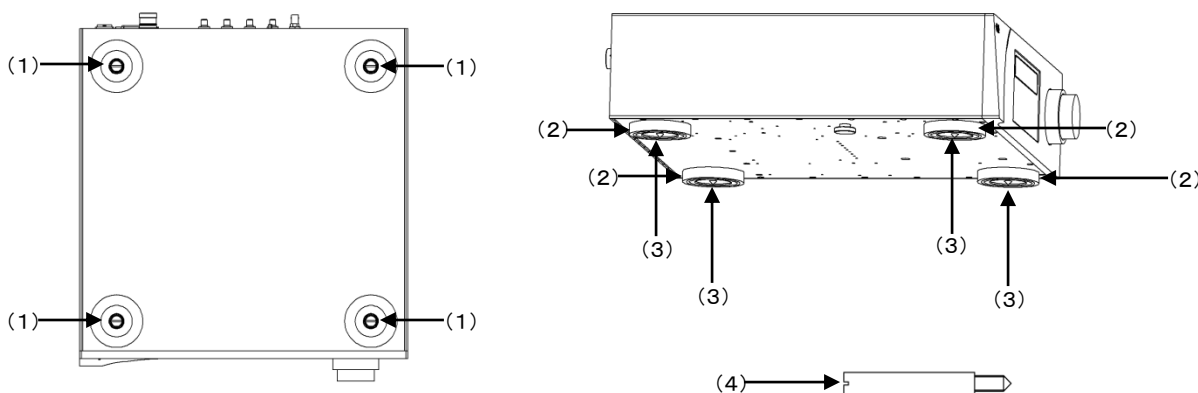
3.2 設置位置

D1をしっかりとしたラックや台に載せてください。空気が適切に循環することを確認してください。

3.2.1 機器の位置調整

D1には、高さ調整の機能が備わっています。それぞれの脚部は内部に調整可能なスパイクシャフトを装備しており、付属の調整用ドライバーで回すことにより、D1の高さ調整が可能です。工場出荷時は、スパイクシャフトはアクセサリボックスに入っています。アクセサリボックスからスパイクシャフトを取り出し、それぞれの脚部にひとつずつ挿入してください。スパイクシャフト頭部にドライバーを当て、回転させてスパイクの高さを調整します。スパイクを完全に格納した場合、D1は樹脂製リングで接地します。スパイク接地しますと設置面を傷つける場合がありますので、適切な保護を行ってください。

※上から見た図



(1) 脚部。それぞれの脚部にスパイクシャフトを挿入し、付属のドライバーを用いてそれぞれのスパイクの高さを調整します。

(2) 脚部(接地側)

(3) スパイクシャフトの先端

(4) 横方向から見たスパイクシャフト

3.2.2 シャフトカバーの調整

機器の位置が決定したら、シャフトカバーを4つの脚部に取り付けます。シャフトカバーには以下のとおり2タイプあります。シャフトカバーは付属のアクセサリボックスの中に入っています。



スタッキング用シャフトカバー:

異なるCH Precision製品をスタッキングする際に使用します



ノーマルシャフトカバー:

機器をスタッキングしない場合や、スタッキングした場合の一番上の機器に取り付けます。

CH Precision 製品を、他社製品とスタッキングしてご使用になることは避けてください。